

植物工場先端技術セミナー

「スマート農業を支える農工融合研究」

日時 令和元年 11月21日 (木) 12:40~16:00

募集人数
100名

- 主催: 一般社団法人日本施設園芸協会、豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター
豊橋技術科学大学エレクトロニクス先端融合研究所、愛媛大学植物工場研究センター
- 後援: 日本生物環境工学会生物生体計測部会
日本生物環境工学会中部(東海・北陸)支部
愛媛大学社会連携推進機構研究協力会スマート農業研究部会
- 事務局: 豊橋技術科学大学先端農業・バイオリサーチセンター
愛媛大学植物工場研究センター
- 資料代: 1,000円
- 場所: 豊橋技術科学大学 A棟101
(〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1)
- 開催趣旨: 農業生産現場では、高齢化と担い手減少による労働力不足が深刻化しているだけでなく、熟練者でなければできない(経験を要する)生育状態の見極めやきめ細かな手作業も多く存在し続けており、ロボット技術や情報化技術を融合した先端工学による省力化が喫緊の課題となっている。
また、このような先端工学技術が実用化されれば、熟練農家の“匠の技”の若い世代への継承も容易になると期待される。
本セミナーでは、農業利用が期待される先端的工学技術(センサー、ドローン、ロボット、植物生体情報計測)を紹介するとともに、これらの技術を活用した高度な農作物生産を展望する。

愛知開催

- 次第
12:00 受付開始
総合司会: 山内 高弘 (豊橋技術科学大学先端農業・バイオリサーチセンター特任准教授)
- 12:40~12:45 開会の挨拶
浴 俊彦 (豊橋技術科学大学先端農業・バイオリサーチセンター長、応用科学・生命工学系教授)
- 12:45~13:25 (1)「農業利用が期待される先端センサー」
野田 俊彦 (豊橋技術科学大学エレクトロニクス先端融合研究所准教授)
- 13:25~14:05 (2)「AI活用のための植物生体情報計測」
高山 弘太郎 (豊橋技術科学大学先端農業・バイオリサーチセンター副センター長、
エレクトロニクス先端融合研究所教授、愛媛大学大学院農学研究科教授)
- 14:05~14:15 休憩
- 14:15~14:55 (3)「ドローン映像処理の農業応用」
金澤 靖 (豊橋技術科学大学情報・知能工学系准教授、人間・ロボット共生リサーチセンター准教授)
- 14:55~15:35 (4)「農業ロボットのための先端画像処理技術」
三浦 純 (豊橋技術科学大学情報・知能工学系教授、人間・ロボット共生リサーチセンター教授)
- 15:35~15:50 総合討論
- 16:00 閉会
- 16:00~16:30 施設見学(希望者のみ)



場所 豊橋技術科学大学 A棟101
愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

- バス 豊橋駅東口2番のりばから豊鉄バス豊橋技科大線に乗車「技科大前」で下車 <所要時間約30分>
- タクシー 豊橋駅前から南へ8.2km <所要時間約25分>

申込フォーム
<https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~sympo2/mpmailec/form.cgi>

問い合わせ先
豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター
TEL:0532-44-6655 (担当者: 加藤)
愛媛大学 植物工場研究センター人材育成プログラム
TEL:089-946-9805 (担当者: 神野・間宮)